No.39
令和３(2021)年11月１日発行

たきかわ市議会だより

主な内容

皆さんの声を議会へ
(一般質問)……２～５
決算審査特別委員会
審査報告……６～８
主な議決結果……９
インターネット中継のお知らせ
傍聴してみませんか……10

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！
マチイロで検索（iOS・Android 対応）

令和２年度一般会計など決算８件を審査・認定

Ｂ＆Ｇ財団の支援による防災拠点整備、コロナ感染症対策として市内事業者緊急支援金の給付などを補正予算で可決

第３回市議会定例会が９月３日から15日までの13日間の会期で開かれ、前田市長から令和２年度各会計決算に係る決算大綱説明が行われました。
令和３年度一般会計補正予算など市長提出議案11件がいずれも可決されたほか、市政について12人の議員による一般質問が行われました。

▲防災意識の高まりを受けて開催した段ボールベット組み立て訓練の様子

一般会計補正予算の主な内容

○防災拠点整備	2,138万円
○滝川市事業者緊急支援金給付	4,264万円
○小中高コロナ感染症対策	1,120万円
○文化センター代替施設検証、公共ホール等使用料補助等	1,316万円
○令和２年度国庫補助金等の事業費確定に伴う返還	5,992万円

【令和２年度決算の内容】

会計区分			決算額	執行率
一般会計			262億8347万円	91.6%
特別会計	国民健康保険特別会計		43億8662万円	98.4%
	公営住宅事業特別会計		5億4331万円	92.8%
	介護保険特別会計		36億3800万円	90.2%
	後期高齢者医療特別会計		6億4942万円	99.5%
	土地区画整理事業特別会計		4783万円	86.5%
	特別会計　小計		92億6518万円	94.7%
下水道事業会計		収入計	20億7030万円	89.5%
		支出計	23億6866万円	88.4%
病院事業会計		収入計	74億3982万円	100.8%
		支出計	76億4328万円	93.5%

発行：滝川市議会　編集：たきかわ市議会だより編集委員会　〒073-8686　滝川市大町１丁目２番15号　TEL.0125-28-8048　FAX.0125-23-5329

皆さんの声を議会へ

当市議会では、６月・９月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関から報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では２日間にわたり行われ、12名の議員が質問しました。ここではその一部をお知らせいたします。

質問者	質問項目
柴田　文男（会派清新）	児童生徒の熱中症対策について　コロナ禍での学校の問題点の掌握と適切な対応について　少人数学級の本市独自での導入について
木下八重子（会派みどり）	江部乙中学校の跡地利用について　丸加高原伝習館の今後の在り方について
水口　典一（会派清新）	ワクチン未接種者に対する今後の対応について　移住・定住について　地域おこし協力隊の活用について　小学校における部活動の少年団への移行について
東元　勝己（会派清新）	江部乙中学校閉校後の跡地利活用について　ヤングケアラーについて
堀　　重雄（公明党）	インターネット環境整備について　企業版ふるさと納税について　ワクチン接種について
山本　正信（会派みどり）	本年度の異常高温による農業被害と今後の対策について　コロナ感染症による農産物価格の低迷対策について　12歳未満への感染予防対策等について
山口　清悦（会派みどり）	土砂災害対策について　電子申請等について
三上　裕久（公明党）	滝川市総合計画について　新滝川市総合計画の策定について　スマイルビルの現状について　高齢者等ワクチン接種送迎支援事業について　妊産婦の支援について　学校におけるコロナ感染予防等について
荒木　文一（会派清新）	押印の見直しについて　市立病院のコロナ感染者の受け入れについて
寄谷　猛男（共産党）	土地利用規制法による対応について　ドッグランの設置について　公営住宅でのペットの飼育について　避難所でのペットの受け入れについて
渡邊　龍之（会派みどり）	立地適正化計画について　コロナ禍における組織について　感染予防対策に関する情報の発信について　コロナ禍における学校運営について
佐々木和代（新政会）	小中学校の空調（冷房）設備の設置状況について　タブレットの活用状況について

第３回定例会 一般質問から

※ＱＲコードをスマートフォンで読み取ると、その質問者の映像をユーチューブでご覧いただけます。

教育環境の整備について

柴田　文男（会派清新）

問 コロナを教訓に子どもたちの教育環境を見直す必要がある。全国に先駆けて30人以下の少人数学級を導入すべきであると考えるが、見解を伺う。

答 国の学級編成標準が40人から35人に段階的に引き下げられたことを受け、まずはこれに向けた取り組みを進めていきます。30人以下学級については、教職員の確保や学級数増加に伴う施設改修など多くの課題がありますが、少人数学級の本来の目的であります「きめ細かな指導」を目指し、ＩＣＴを活用して「新しい時代の学びの環境」への転換を少しずつでも着実に進めていきます。

問 未曽有の酷暑に襲われた今夏、学校での子どもたちの健康が守られないとの危機感が広がった。熱中症による子どもたちの健康被害を避けるため、児童生徒の避難場所となる保健室に早急にエアコンを設置すべきと思うが、見解を伺う。

答 体調不良の子どもたちの回復を図るうえで、保健室への空調設備の設置は非常に有効な手段であると考えます。学校配当予算を使用し、既に空調設備を整備した学校もありますので、設置に向けて積極的に検討していきます。

丸加高原伝習館の今後の在り方について

木下八重子（会派みどり）

問 丸加高原伝習館の利用については、株式会社そらぷちファームによるワイナリー設置計画が中止となった経緯があるが、その後、施設の利用につながる事業者等からの問い合わせ等はあるのかを伺う。

答 ワイナリー設置計画の中止が発表されて以降、施設に関する事業者等からの問い合わせはありません。

問 施設を休館にしても最低限の維持管理費は発生する。施設の耐用年数を考慮し、早急に今後の展望を示すべきと思うが、考えを伺う。

答 丸加高原健康の郷の総合的な活用を検討するため、丸加高原伝習館については平成31年４月から機能を縮小して運営を行っていますが、著しい老朽化により１億５千万円以上の多額の改修経費が必要とされたことなどから、基本的には民間事業者によるものを含めても施設の活用は困難であると考えています。現時点では明確にお伝えできる状況にはありませんが、優れた景観と環境を活用し、事業を展開している松尾めん羊牧場やそらぷちキッズキャンプなどが今後も継続して運営していけるよう、今年度中にその方向性を決定したいと考えています。

ワクチン未接種者に対する今後の対応について

水口　典一（会派清新）

問 未接種者に対するフォローについて、どのように検討しているのかを伺う。

答 様々な事情により、望んでも接種できない方々への配慮も必要と考えており、８割程度を１つの目安として取り組むことを想定しています。具体的な手法として、未接種者に対する勧奨ハガキの送付のほか、公式ホームページやＳＮＳ、広報たきかわや報道機関を通じての発信など、多様な手段により勧奨を行い、１人でも多くの方に接種していただけるよう取り組んでいきます。

問 総務省は来年度の地域おこし協力隊を大幅増員する方針である。来年度に向けた募集をすべきと考えるが、協力隊の積極的な活用について伺う。

答 これまで観光振興、クラフトビール醸造などで平成26年度から12名の隊員が活動されました。その後、市内で起業される方がいる一方、任期満了で本市を離れる方もおり、活動内容や任期後の定住につながる働く場の確保といったマッチングなどの課題もありますが、この制度を有効に活用できれば、隊員、地域、自治体にとってメリットがあると考えており、来年度に向け、募集できるよう努めていきます。

ヤングケアラーについて

東元　勝己（会派清新）

問 滝川市におけるヤングケアラーの実態について伺う。

答 「ヤングケアラー」とは、年齢や成長に見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家族の介護や世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子どもとされています。ヤングケアラーである子どもは自身がヤングケアラーであることの認識がないことや家庭内で担っている役割のことを誰にも話していないケースが多いため、実態の把握が難しいと言われており、市のこども家庭相談室においても、今のところ情報提供や相談の実績はありませんが、これまで問題解決に取り組んできた事案の中に、ヤングケアラーとしての側面も持ち合わせていた可能性があるのではないかと考えています。今後もお子さんの家庭環境に関する相談などがあった場合は、要保護児童等対策連絡協議会の関係機関の皆さんをはじめ、関係各課と情報共有を図りながらそれぞれの家庭状況にあわせた支援策を検討し、対応していく中で、国の動向も注視しつつ、ヤングケアラーに対する必要に応じた支援を行うよう取り組んでいきます。

第３回定例会 一般質問から

※ＱＲコードをスマートフォンで読み取ると、その質問者の映像をユーチューブでご覧いただけます。

インターネット環境の整備について

堀　　重雄（公明党）

問 光回線でのインターネット環境のメリットはテレワーク、オンライン授業、観光事業、スマート農業など多岐にわたり、整備を望む市民の声は多く早急な対応が必要である。本市の取り組みを伺う。

答 コロナ感染症対策関連の交付金を活用した整備も検討しましたが、多額の費用がかかるため整備には至っていません。一方で携帯電話回線事業者等の移動通信システムでは、通信の高速化とともに提供エリアが拡大し、市内の生活エリアほぼ全域で利用可能となっています。通信環境は、これまでも急激に発展してきており、今後新たな通信規格の展開も予定されていますので、市としては、光回線環境と併せて新たな通信環境について情報収集を行い、必要に応じて市民の皆さんにも情報提供などを行っていきます。

問 コロナ対策には、ワクチン接種率を高める必要があるが、様々な情報により副反応を恐れている方を含め、副反応の正確な情報を発信すべきと思うが考えを伺う。

答 不安解消に向け、ホームページやＳＮＳ、報道機関等を通じて副反応の正しい情報の伝達に努め、接種意欲の向上を図っていきます。

異常高温による農業被害とコロナ対策について

山本　正信（会派みどり）

問 渇水と異常高温が続いたことで畑作物に甚大な影響が生じた。この影響の把握と今後の対策、そして農業被害に係る公的保険制度の未加入者への対策と年末に向けた資金需要対策について伺う。

答 畑作物全般で影響が発生していることを確認しています。この干ばつにより廃耕せざるを得ない大豆とエゴマについて、産地交付金の支給対象となるよう国に対して手続きを行っており、また、農業保険制度の未加入者に対しては、加入促進に努めていきます。年末に向けた資金需要については、北海道の対策会議で収入保険が補てんされるまでのつなぎ融資やセーフティーネット資金の円滑融資等が盛り込まれたところであり、さらなる情報収集を行い、これらの周知と活用支援を行っていきたいと考えています。

問 ワクチン接種を受けられない12歳未満への感染予防対策とＰＣＲ検査の実施について伺う。

答 手指消毒やマスク装着の徹底のほか、風邪症状がある場合の自宅休養を求めるなどの感染対策を周知し、児童館や保育所等でも消毒作業などを日々徹底しています。ＰＣＲ検査の実施については、９月頃から検査キットが配布される見込みです。

土砂災害対策について

山口　清悦（会派みどり）

問 国内各地で大雨や地震による土砂災害が発生している。市配布のハザードマップによると、一の坂町の根室本線の崖上近辺と崖下にあたる大町、緑町６丁目と７丁目周辺が土砂災害警戒区域ならびに土砂災害特別警戒区域に指定されている。この２区域の説明はハザードマップに簡単に掲載されているが、どのような調査や基準により区域を設定したのか、また、土砂災害に対する注意喚起や避難時期の決定などはどのように考えているのかを伺う。

答 法改正がなされ、昨年12月に北海道知事により区域指定があったところです。当該区域につきましては、特別警戒区域内に家屋は存在せず、警戒区域内には約70世帯が住まわれていることを確認しています。区域の決定にあたっては、事前に関係町内会への説明のほか、警戒区域内の全世帯に戸別訪問を実施し、説明を行っています。災害時には、気象台や道との情報連携のなかで避難時期を決定することとしており、市から避難情報を発令した場合は、戸別訪問の際に提供いただいた電話番号による個別連絡も含め、対象世帯への情報伝達の漏れがないよう努めていきたいと考えています。

学校におけるコロナ感染予防等について

三上　裕久（公明党）

問 学校内で感染者が確認された場合に対応するためのガイドラインがあるのかを伺う。

答 学校、市教委、道教委や保健所との連携・報告の手順が細かく道教委の通知に示されており、これに従って対応しています。

問 学校ごとに臨時休業を行う判断や基準に差があるというようなことはないのかを伺う。

答 国や道教委からの通知やガイドライン等を参考に、市教委と学校、保健所が協議を行い、対応しているため、基本的には統一的な対応がとられています。

問 コロナ感染の児童生徒に対するいじめ防止のための対策について伺う。

答 感染者が確認された学校では、道徳科や学級活動等の授業において、感染者の詮索や誹謗中傷を行わないよう指導しているとともに、家庭にも同様の協力を求める文書等を学校から配付しているところです。教育委員会としては、毎年の「絆づくり成果交流会」等を通じて各学校の取り組みを公開・共有しており、今後も市全体であらゆるいじめを許さない心構えを持って対応していきます。

第３回定例会 一般質問から

※ＱＲコードをスマートフォンで読み取ると、その質問者の映像をユーチューブでご覧いただけます。

行政手続きに関する押印の見直しについて

荒木　文一（会派清新）

問 市民、団体、法人等の各種申請や登録に際し、地方公共団体の書面規制、押印の見直しが求められている。本市における取り組みの現状と廃止割合等の見通しについて伺う。

答 国の指針に基づき、本年１月に方針をまとめ、本市の例規に規定する約1800様式のうち、約200様式について本年３月末までに押印廃止等の見直しを行ったところです。今後は、押印を求める趣旨や代替手段の可否等の視点から整理する中で、今年度末までにその結果を反映し、新年度から全庁的に対応していく予定です。他の先行自治体の状況による想定として、概ね８割から９割程度の様式が押印不要となる見込みですが、法令等に基づく契約書などの押印の廃止はできないと考えております。

問 滝川市立病院における新型コロナウイルス感染患者の病床設置や受入実態について伺う。

答 本院は、感染症指定病院の後方支援として、一定の役割を北海道から与えられており、１つの病棟全てを活用し、ゾーニングを行い、入院受入れ対応を行っています。実態については北海道が非公表としているためお伝えできません。

避難所でのペットの受け入れについて

寄谷　猛男（共産党）

問 いわゆる土地利用規制法は住民に対してどのような調査・規制を行うのか政府の裁量に任せている。調査の範囲が住民の職歴や家族、交友関係にまで広がりプライバシー権等を侵害する危険性がある。情報を提供する立場にある市長の考えを伺う。

答 法律の運用方針などの具体的な内容については、現時点では示されていません。今後示される内容等を注視しながら定められた法のもとに適正に対応していきます。

問 ペットは家族の一員ともいわれる。犬と触れ合い、愛犬家とも交流できるドッグランの設置ならびに災害避難所でのペットの受入れについて伺う。

答 ドッグランの設置については、市として把握しているニーズはなく、一部の利用者に限られる施設であることから、他の施策に比べて優先度は低くなると考えます。次に、避難所でのペットの受入れについては、災害時にペットを連れて避難することを想定し、ペットのための専用のスペースを確保して提供します。また、ペットと一緒に過ごすために車中泊を希望する方に向けたスペースの確保が可能かどうか検討していきたいと考えます。

コロナ禍における学校運営について

渡邊　龍之（会派みどり）

問 本年も各学校では、卒業式・入学式・運動会・修学旅行等の行事を縮小せざるを得ない状況であるが、今後の学校教育活動の進め方について伺う。また、今の状況が長く続けば子どもたちや教職員の心身の負担が増え、メンタルにも影響が出るのではないかと考えるが対応について伺う。

答 市内各校の教育活動は、「学校の新しい生活様式」に基づき、規模の縮小や延期などの対応を行っています。いまだコロナの終息は見えないことから、この状況は今後も続くものと思われます。各校では、児童生徒の負担軽減を図るため、３密を避けながら児童生徒同士が心の触れ合いをしたり、思い切り体を動かす活動を工夫して取り入れているほか、授業では、ストレスについての知識やその解消の仕方などを指導しています。また、教職員の負担を軽減するために、道教委事業によるスクール・サポート・スタッフや学習指導員を配置し、教室の換気や消毒、家庭への配付物の印刷、補習授業をする際の補助、提出物の採点業務など、コロナにより増加した教職員の業務に対する人的支援を行っています。

小中学校のエアコンの設置について

佐々木和代（新政会）

問 小中学校のエアコンの設置状況と今後の方向性について伺う。

答 空調設備は、現在２校のパソコン教室と１校の保健室、各給食調理場に設置しています。気温の高い夏場を考えた場合、児童生徒の学習環境や教職員の職場環境を改善するには、空調設備の設置の必要性は高いと考えますが、非常に厳しい財政状況であることも踏まえ、現在は、老朽化が進んだ校舎の改修等が優先であり、今後の方向性としては大規模改修にあわせての設置を検討していく考えです。

問 小中学校のタブレット端末の使用にあたり、市が作成したガイドラインには道徳的なルールは記載されているのかを伺う。

答 ガイドラインには、校内での活用と持ち出し時のルールについて記載していますが、情報モラルに関する内容については、特に記載していません。なお、文部科学省発出の手引き等において、個人情報を書き込まないことや、むやみに画像を掲載しないなどの注意点について記載されており、各学校においては、適宜これを活用して児童生徒に指導しているところです。

第３回 定例会

決算審査特別委員会審査報告

一般会計など全決算を“認定”

本定例会では、第１および第２決算審査特別委員会を設置し、９月８日から９日まで各委員会を開催し、令和２年度の一般会計１件ならびに特別会計５件、事業会計２件について審査を行いました。

プレミアム商品券の効果

問 **プレミアム商品券発行事業の効果について伺う。**

答 ３億8,000万円の消費効果により、地域に対する一定の経済効果はあったと認識している。

小学生の通院費助成

問 **非課税世帯の小学生の通院費について助成を実施しているが、成果や課題等について伺う。**

答 コロナの影響で、医療需要がどれほどあるかを正しく把握できなかったところもある。ただ、見込んでいた対象者のうち約半数の方は申請をされたので、引き続き制度の周知に努めて、次年度以降も必要な世帯に対する助成を実施していく考えである。

道路の維持管理

問 **道路の維持管理について、市内の見回りや道路の凸凹補修等はどのように行っているのか。**

答 市の直営では随時、受託業者は地区ごとに毎日パトロールを行っている。道路の補修については、危険性の高い大きな穴等についてはできる限り速やかに修繕を行い、軽微な穴等については、業務発注している舗装業者により毎月穴埋め作業を行っている。

街路樹の管理

問 **管理を含む街路樹の将来的な課題について伺う。**

答 市内の街路樹の中には40年を超える老木があり、危険な樹木については随時伐採をしている。令和２年に実施した、緑の基本計画の策定に関する市民アンケートにおいては街路樹について必要、不必要と意見が分かれたが、街路樹がもたらすメリットも多くあることから、今後は重点路線については、老木による伐採後には補植を行うこととし、他の路線については伐採後の補植は行わない考えである。

市立病院看護職員の時間外労働

問 **現状の看護師の人数と時間外勤務の時間について伺う。**

答 今年４月１日現在、正職員は202名で、時間外勤務の実績は、看護師１人あたり月平均で令和元年度は16.2時間、令和２年度は13.8時間となっている。

※「決算委員会」「一般会計」「特別会計・事業会計」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

下水道使用料の見直し

問 **令和元年10月に行われた下水道使用料の見直しによる影響について伺う。**

答 コロナの影響がなかった令和元年12月と令和２年１月の検針水量を基に旧料金体系と新料金体系で検証したところ、0.31％の減、月額にして約18万円となったことから、見直しによる使用料や収支における影響はほぼなかったと認識している。

問 **上下水道の検針回数の減による効果と影響について伺う。**

答 効果として人件費の削減がある。また、現時点で調定収入等の事務における不足は生じていないことから、マイナスの影響というのはないと認識している。

高　齢　者　福　祉

問 **コロナの影響を受けて中止した高齢者向けの事業について伺う。**

答 高齢者の集いの場、サロン事業などを中止した。この間いきいき百歳体操については、地域ＦＭでの短縮版の放送やＤＶＤの貸出しにより自宅での取り組みを支援したほか、訪問や電話などで健康状態を確認し、体力低下が懸念された方には、介護保険サービス等を案内するなどを行った。

問 **要介護認定件数が令和元年度と令和２年度を比較すると、約300件減となっている要因について伺う。**

答 平成30年から更新の場合の介護の有効期限が36か月に延びたことにより、更新が大幅に減少しているが、新規や区分変更は昨年より若干増加している。

特　定　検　診

問 **特定健診の受診率と主な要因について伺う。**

答 令和２年度の特定健診の目標受診率は、44パーセントとなっているが、今年10月頃に確定する実績としては、約37パーセント前後になると見込んでいる。下回った主な要因は、コロナによる受診控え、集団健診や市内医療機関の人数制限、健診実施の見合せなどが影響しているものと考える。

が　ん　検　診

問 **がん検診にかかる予算額と実績の乖離の要因を伺う。**

答 主に集団健診における特定健診と併せての実施となっているが、緊急事態宣言等を踏まえて集団健診の定員数の制限があったことから、当初見込みよりも減少した。

健康なまちづくり推進事業

問 **健康なまちづくり推進事業におけるコロナによる影響について伺う。**

答 コロナの影響により、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんのこれら５つの検診について、集団健診での人数制限等により減少した。

決算審査特別委員会における各会派討論

◎会派清新

歳出ではコロナ禍での市独自の各種経済対策やひとり親家庭への支援策について、限られた自主財源での執行を評価する。ワクチン接種事業については、様々な準備にあたり大変苦労されたと推察するが、感染症対策や災害対応等の有事に備えた職員配置の再考と併せ、苦情対応にあたる職員のメンタルヘルスケアに十分配慮する必要があると考える。

病院事業会計については、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等の補てんにより純利益は確保したが、コロナ終息後を見据え、医業収益の確保、経費節減、看護師や医師の確保など経営の安定化に向けた取り組みを進め、市民が安心して暮らせる環境づくりに努められることを望む。

◎新政会

コロナ禍による制約がある中、ふるさと納税の積極的な推進等により一般会計で剰余を生じたことは評価する。コロナの影響で受診控えと障がい者や高齢者の閉じこもり傾向が見られ心身機能の低下が懸念されるため、影響が出ていないか注視し必要な対策を行うこと、ＧＩＧＡスクールのスムーズな推進に向け、教員への研修の充実を図ることを要望する。

下水道管の老朽化対策などによる企業債の増加など厳しい経営状況が続く見込みであるため、滝川市公共下水道事業経営戦略を着実に実施すること、ならびに滝川市立病院経営改善計画に基づき、看護師の確保や病床の再開など、経営の安定化に向けた取り組みに尽くされ、質の高い医療の維持向上を実現することを期待する。

◎会派みどり

ふるさと納税は社会変化に応じた新しい試みを進めさらなる財源確保のため検討すること、未収金の回収に向けて市税徴収員の増員を図ること、危険な空き家対策として代執行などを積極的に実施すること、災害に強い滝川市を作るために備蓄品の増強などを念頭に対応するよう望む。

また、各特別会計及び公営企業会計においては、一般会計からの繰入金で収支のバランスをとっているが、各会計においてはさらなる健全な経営感覚を身に付けていくこと、病院事業会計においては、コロナ禍で資金不足等厳しい経営状況にあり、現在、市立病院経営改善計画に取り組まれているが、地域に根差した質の高い医療を目指し、重点取り組みの確実な実行に努めることを期待する。

◎公明党

コロナの感染拡大防止に取り組むなかで、持続可能な財政基盤を築くために策定された滝川市第２期財政健全化計画の当初予定期間の７年間を10年間とする修正変更を行うことになり、この間の職員、理事者、医療に携わる皆様のご苦労とご努力に敬意を表する。

今後の少子高齢化を見据え、公営住宅の設置場所は、病院・市役所・スーパーなどに近い所を検討すること、また市立病院の役割は、市民にとって必要な医療を、採算を重視する民間とは異なり提供することにあるが、そのようなハンディを負いながら、健全経営を目指すことの大変さは十分理解している。「患者の満足のために頑張ることが社会の発展になり、自分のためになる」との意識改革の取り組みを期待する。

◎日本共産党

新たに非課税世帯の小学生の通院に対する助成が実現したことを高く評価し、病気にかかりやすい年齢の子どもが等しく心身ともに健やかに成長できるよう助成対象のさらなる拡大に取り組むこと、また、保育所の職員の充実に取り組み、一人ひとりの子どもたちに目が行き届き、保護者が安心して託せる保育所づくりを望む。

コロナ禍で特に商工業関連事業者が大きな影響を受けたことを踏まえ、地域振興に積極的に取り組んでいただきたい。

教育費は、長期欠席にある児童生徒への切れ目のない支援をさらに進めること、また、学びの際に発生する事故を防ぐための安全対策を着実に進めることを要望する。

令和３年第３回定例会議決結果

議案番号	件　　名	議決結果
報告第１号	**令和２年度決算に係る健全化判断比率について**	**報告済**
報告第２号	**令和２年度決算に係る資金不足比率について**	**報告済**
報告第３号	**専決処分について（訴えの提起）** 市営住宅の原状回復に関する損害賠償請求の訴えを提起するものです。	**報告済**
報告第４号	**専決処分について（調停の申立て等）** 滞納している市営住宅家賃および駐車場使用料の支払請求について調停の申立て等をするものです。	**報告済**
報告第５号	**株式会社滝川振興公社の経営状況について**	**報告済**
報告第６号	**一般社団法人滝川国際交流協会の経営状況について**	**報告済**
議案第１号	**令和３年度滝川市一般会計補正予算（第５号）** Ｂ＆Ｇ財団の防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業支援金を受けて行う防災拠点の整備や人材育成に係る事業、小中高校における感染症対策等を徹底する取り組み等に係る補正予算です。	**原案可決**
議案第２号	**令和３年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）** 脳ドック費用助成事業の受診人数の追加（20人）のための補正予算です。	**原案可決**
議案第３号	**令和３年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第１号）**	**原案可決**
議案第４号	**令和３年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）** 脳ドック費用助成事業の受診人数の追加（20人）のための補正予算です。	**原案可決**
議案第５号	**令和３年度滝川市下水道事業会計補正予算（第１号）**	**原案可決**
議案第６号	**滝川市立江陵中学校と滝川市立江部乙中学校の統合に伴う関係条例の整備に関する条例** 江陵中学校と江部乙中学校の統合に伴い、江部乙中学校及び学校給食江部乙共同調理場を廃止するための改正です。	**原案可決**
議案第７号	**滝川市個人情報保護条例の一部を改正する条例**	**原案可決**
議案第８号	**滝川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例** 保育所の事業者等における書面等の作成・保存等や保育所等と保護者の間の手続きについて電磁的方法による対応を可能とするための改正です。	**原案可決**
議案第９号	**滝川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例** 家庭的保育事業者等における書面等の作成・保存等について電磁的方法による対応を可能とするための改正です。	**原案可決**
議案第10号	**決算審査特別委員会の設置について**	**原案可決**
議案第11号	**令和３年度滝川市一般会計補正予算（第６号）** コロナの影響を受ける市内事業者を支援するため、国の月次支援金または北海道の特別支援金Ｂに上乗せして給付する支援金ならびに文化センター大ホールの利用休止に伴う代替施設の検証事業および市内外の公共ホールの利用に対する補助金などに係る補正予算です。	**原案可決**
認定第１～８号	**令和２年度滝川市各会計決算**	**認定**
意見書案１号	**義務教育費国庫負担制度堅持･負担率１/２への復元､｢30人以下学級｣など教育予算確保･拡充と就学保障の実現に向けた要望意見書**	**原案可決**
意見書案２号	**国土強靭化に資する社会資本整備等に関する要望意見書**	**原案可決**
意見書案３号	**出産育児一時金の増額を求める要望意見書**	**原案可決**
意見書案４号	**コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める要望意見書**	**原案可決**
意見書案５号	**林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書**	**原案可決**

なるほど、そうなんだ

用語を理解して議会をもっと身近に！

■決算委員会（Ｐ６）

前年度予算の執行状況を審査するため、毎年９月定例会に設置･開催される委員会です。本市では、全議員16人が２つの委員会に分かれ、第１委員会では一般会計１件を、第２委員会では特別会計と事業会計を合わせた７件を審査しています。

■一般会計（Ｐ６）

地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅的に計上した会計のことで、特別会計と事業会計に計上される経費を除くすべての経費を処理することとされています。

■特別会計・事業会計（Ｐ６）

特定の収入を充てて特定の事業を行う場合の経理を明確にするため、一般会計と切り離して独立して設置する会計のことをいいます。本市では、公営住宅事業特別会計や国民健康保険特別会計、病院事業会計などがあります。

インターネット中継のお知らせ

滝川市議会では議会改革の一環として、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていただけるよう、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。

なお、本会議開催中の場合は、滝川市議会YouTubeチャンネル内でライブ中継が配信されます。また、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけますのでご利用ください。

たきかわ市議会
ホームページＱＲ

傍聴してみませんか

令和３年第４回滝川市議会定例会開催予定日をお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/１	2	3 本会議	4
5	6	7	8	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	１/１

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ　議会事務局　☎28-8048

編　集　後　記

今年４月に発出された、緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置は９月30日をもって、全ての都道府県において解除されました。これを受けて、滝川市議会では、アフターコロナを見据えた議論が活発になってきています。コロナの蔓延を防止することはもちろん、地域経済の立て直しなど、取り組むべき課題はたくさんあります。

まだまだ予断を許さない状況が続くと思いますが、ワクチンの接種も進み、明日への希望を見出せる日が近づきつつあると感じる毎日です。１日も早くいつも通りの生活が送れるよう、私たちにできる身近な感染対策に取り組んでいきましょう。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員　三上　裕久

発行責任者　滝川市議会議長　関藤　龍也